



平成 29 年 4 月 27 日

各 位

会 社 名 三 井 造 船 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 田 中 孝 雄  
(コード：7003、東証第一部)  
問 合 せ 先 財 務 経 理 部 長 三 宅 一 徳  
(TEL 03-3544-3225)

## 連結決算及び個別決算における損失の計上並びに 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 29 年 3 月期連結決算及び個別決算において、下記の通り損失を計上することとなりましたのでお知らせいたします。

また、平成 29 年 3 月期通期連結業績につきましては、本件の影響等により平成 29 年 2 月 7 日に公表した予想値を下記の通り修正いたしましたので、併せてお知らせいたします。

### 記

#### 1. 連結決算における損失の計上

当社の連結子会社で建設中のプラント工事において、現地工事の生産性低下にともない工程遅れや現地労働力の大幅な追加投入等で第 3 四半期決算までに約 175 億円の損失を計上したことはすでにお知らせした通りです。本件については、支援体制の拡充や工程管理のための外部専門家を雇う等、生産性向上に向けた必要な対策を講じ、更なる工程遅延を防ぐべく工事を進めて参りました。しかしながら、据付工事が終盤に差し掛かり、各種試験・検査が進捗するにつれ、想定を上回る手直し工事が発生しているほか、現地労働力の安定確保にも懸念が生じてきたことから、納期を 2 カ月程度延長する方向で客先と協議を進めております。こうした状況を踏まえ、今後発生が見込まれる現地運営費用の増加や、後工程への影響等を加味した最終予想原価を見積可能な範囲で再度見直した結果、受注工事損失引当金繰入額（売上原価）約 60 億円の損失を追加で計上することといたしました。

当社といたしましては、引き続き親会社として万全の施工体制をもって本プロジェクト完工に向けて最大限のサポートを続けて参ります。

#### 2. 個別決算における損失の計上

前項の連結子会社における損失の計上にともない、当社個別決算において、関係会社事業損失引当金繰入額約 60 億円を特別損失として計上することといたしました。なお、関係会社事業損失引当金繰入額は、連結決算では消去されるため連結業績には影響いたしません。

#### 3. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 740,000	百万円 12,000	百万円 18,000	百万円 5,000	円 銭 6.19
今回修正予想 (B)	732,000	8,000	15,000	12,000	14.86
増 減 額 (B-A)	△8,000	△4,000	△3,000	7,000	—
増 減 率 (%)	△1.1	△33.3	△16.7	140.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	805,413	11,813	15,078	7,599	9.40

## 修正の理由

売上高はほぼ計画通りに進捗しております。営業利益及び経常利益については上記 1 項の減益要因により前回予想を下回ると想定されますが、その他の工事およびプロジェクトでコスト改善が進んだことに加え、為替レートが想定よりも円安に推移したこと等により、減益幅は圧縮される見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益については特別損失並びに税金費用の減少により前回予想を上回る見込みです。

(注) 上記予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により上記数値と異なる可能性があります。

以上